【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公表番号】特表2020-517604(P2020-517604A)
【公表日】令和2年6月18日(2020.6.18)
【年通号数】公開・登録公報2020-024
【出願番号】特願2019-556322(P2019-556322)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/501　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/165　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/522　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4458　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/137　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/19　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/501
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/165
Ａ６１Ｋ　31/522
Ａ６１Ｋ　31/4458
Ａ６１Ｋ　31/137
Ａ６１Ｋ　31/19

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月29日(2021.3.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
交代勤務障害に伴う過度の眠気の治療のための医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項２】
交代勤務障害の治療のための医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項３】
交代勤務に起因する概日リズム機能不全をモジュレートする作用剤である医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許

容可能な塩の使用。
【請求項４】
交代勤務障害患者の覚醒を促進するための医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項５】
交代勤務障害に伴う認知機能障害、たとえば、各々交代勤務障害に伴う学習障害、精神運動機能障害、注意力障害、持続的注意力障害、作業記憶障害、エピソード記憶障害、遂行機能障害、聴覚情報処理速度障害、聴覚情報処理柔軟性障害、及び計算能力障害の治療のための医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項６】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩が、少なくとも１つの薬学的に許容可能な賦形剤をさらに含む医薬組成物の形態で投与される、請求項１～５のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項７】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩が、１つ以上のさらなる医薬活性成分との組合せで投与される、請求項１～６のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項８】
前記さらなる医薬活性成分が覚醒促進剤である、請求項７に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項９】
前記覚醒促進剤が、モダフィニル、アルモダフィニル、カフェイン、メチルフェニデート、デキストロアンフェタミン、及びナトリウムオキシベートからなる群又はそれらの薬学的に許容可能な塩から選択される、請求項８に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１０】
前記覚醒促進剤が、モダフィニル又はアルモダフィニル又はそれらの薬学的に許容可能な塩である、請求項８に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１１】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレートが、０．１ｍｇ／日～１００ｍｇ／日、特定的には１ｍｇ／日～５０ｍｇ／日、たとえば２ｍｇ／日～１０ｍｇ／日、より特定的には５ｍｇ／日の量で投与される、請求項１～１０のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。

【請求項１２】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩が、眠気を催す不眠者の交代勤務障害患者又は眠気を催す非不眠者の交代勤務障害患者に投与される、請求項１～１１のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１３】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩が経口投与される、請求項１～１２のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１４】
交代勤務障害が、夜勤交代勤務、ローテート交代勤務、夕勤交代勤務、又は早朝勤交代勤務、特定的には夜勤交代勤務、たとえば常夜勤交代勤務又はローテート夜勤交代勤務に関連する、請求項１～１３のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１５】
交代勤務が、夜勤交代勤務、ローテート交代勤務、夕勤交代勤務、又は早朝勤交代勤務、特定的には夜勤交代勤務、たとえば常夜勤交代勤務又はローテート夜勤交代勤務である、請求項１～１４のいずれか一項に記載の医薬の製造における１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩の使用。
【請求項１６】
１－（１－メチル－６－オキソ－１，６－ジヒドロピリダジン－３－イル）ピペリジン－４－イル４－シクロブチルピペラジン－１－カルボキシレート又はその薬学的に許容可能な塩と、モダフィニル、アルモダフィニル、カフェイン、メチルフェニデート、デキストロアンフェタミン、及びナトリウムオキシベートからなる群又はそれらの薬学的に許容可能な塩から選択される少なくとも１つの活性成分と、を含む組合せ。